

おむすび たかしま



56

2022

Autumn



NPO法人コミュニティねっとわーく高島
「2022年度まちづくり講演会」報告

6地域の住民自治協議会がめざすまち
～誰もが主役のまちづくりのために～

開催日:7月10日(日)13:30~16:00

会場:今津東コミュニティセンター 3階 大ホール

第1部:市内6地域の住民自治協議会からのまちづくり計画などの発表

第2部:講演「誰もが主役のまちづくりのために」

講師:中川幾郎氏(帝塚山大学名誉教授)



令和3年度(2021年度)より、市内6地域に住民自治協議会(自治協)が設立され、各地で活動が始まっています。

「まちづくり講演会」の第1部では、各自治協から活動方針や現在の活動状況などについて発表していただきました。

第2部では、中川幾郎氏から、「誰もが主役のまちづくりのために」と題して他市の自治協の事例紹介やまちづくりにおける大事な点についてお話しいただきました。その中で印象に残った言葉をご紹介します。

<自治協が取り組む事業とは>

「全方位なんでもする。区・自治会の困りごと、住民の困りごと、何にでも関わっていく姿勢が基本です」自治協の役割は、福祉、子育て、高齢化対応にとどまらず、都市との交流やコミュニティビジネス、防災など多岐に渡ります。



<安心安全に暮らせるまち>

「あいさつが最も大切。それがまちの基礎になります」安心安全に暮らせるまちには、人のつながりが欠かせません。

<さんま(3つの間)が好き>

- ・人間が好き(まちに暮らす人たち)
- ・空間が好き(まちの景色)
- ・時間が好き(まちに流れてきた時間・歴史、未来に美しい時間)

お互いの縁がつながっていく「まちの縁側」を地域に広げる活動をされた延藤安弘さんの言葉です。まちを動かす大事な力になります。

<これからのリーダー>

「『この人に頼まれたら断れへん』そんなリーダーの育成が重要です」。これからのリーダーに必要な力は、環境をよりよく変える力、周りの人に力を発揮してもらう力、協力してもらう力です!



自分を見つめ、将来を考え、夢が持てる場所を

マキノ町に市内唯一の自立訓練事業所があります。「このゆびとまれ」では以前から障がい者などを支援されてきましたが、卒業生たちの就労後の悩みを耳にして、心の回復や自信を取り戻せる場所が必要だと感じ、2017年に自立訓練事業所「かけはし」を開所されました。

る人たちが、心身ともに健康を維持できる場として、生活介護事業所「つらら」も併設しています。

自立訓練事業所「かけはし」では、「人との関わりや仕事などでストレスを抱え込んだ人たちが、自分を見つめなおし、少しずつ将来を考えることができるよう、日々の活動をとおして自信を取り戻していく取り組み」をしているそうです。利用期間は2年間。1年の延長が可能です。また、常時介護を必要とす

現在、利用者は20〜50代の5名。納品した学校や自治会から喜ばれている飛び出し人形は、市内のゆるキャラを描いたり、オリジナルのデザインなどを考えて製作。薪やヒノキのチップは近隣の方から寄付いただいた間伐材を加工し、マキノ高原などで販売。自分が作った物が喜ばれていることで、次への意欲やアイデアにつながっているそうです。

団体名には「障がいがあってもなくても、自信を無くしたり困った時はここにおいで、という思いを込めた」とのこと。悩みやストレスを一人で抱え込まずにご連絡してみてください。



いただいた仕事は、みんなで協力しながらアットホームな雰囲気です。活動しています。

一般社団法人
このゆびとまれ
代表理事 水谷 平
設立年 2016年
職員数 6名(うち社員4名)
住所 マキノ町 沢 1221-1
TEL 0740-20-4208
FAX 0740-20-4209
メール kakehashi0135@zeus.eonet.ne.jp



Webサイトはこちらから
<https://www.konoyubitomare.website/>

はっけん! きらっと市民活動 in たかしま

高島市で活躍するきらっと輝く市民活動団体をご紹介します。

高島の豊かな自然の中で 楽しく子育てを

もともと自然が大好きという「自主保育ホトリ」の嶋谷さん。

子育てについてさまざまに学びを重ねていくうちに、自然豊かな環境で、子どもが本来持っている力を信じて子育てをしたいという思いが生まれ、2019年の夏、郷里の高島に引っ越したことをきっかけに、今まで学んできたことを活かしてみようと友人たちに声を掛け始めたのが活動の始まりでした。当初は、びわ湖畔や今津の酒

つきなどのイベントや、子育て講演会を開催するなど、活動の輪をますます広げておられます。

自分のやりたいことを実践しようとした活動が、だんだん充実していくことに手ごたえを感じながら、それは仲間や周囲の方々の支えがあったからこそ、と感謝の気持ちを忘れない嶋谷さん。「外で遊んでいる子どもたちを、温かく見守っていただければうれしいです」。自然の中では、子どもたちが楽しく遊んでくれるのはもちろん、その様子を見守る大人たちもまた優しい気持ちになるそうです。

波寺で、数組の親子が思い思いに集まってるのんびりしている場だったのですが、次第にその活動が口コミで伝わり、現在は月2回程度集まるだけでなく、農家での作業体験、夏祭り、もち

これからも、子どもたちの力を信じ、高島の自然の中で楽しく外遊びできる自主保育の取り組みを続けていかれます。私たちも、そんな子どもたちから笑顔と元気をいただきましょう。



季節ごとに、子どもたちが主役になれる多彩なイベントを開催しています。

自主保育ホトリ

代表 嶋谷 香耶子
設立年 2019年8月
メンバー数 39組
連絡先(メール) kayac1029@gmail.com



Instagramで
情報を発信しています
<https://www.instagram.com/jishuhoiku.hotori/>

高島の元気企業

このコーナーでは、地域に根ざした活動や社会貢献活動をしている高島市の企業を紹介しています。

小さなコミュニティの「わっか」をたくさんつくりたい

たかしまじかん 管理人 田中 可奈子さん

「女性で起業をめざす人の応援や何かをした人の拠点にしたい」と情報発信などのセミナーやイベントを開催。ネットとリアルの両方面の「わっか」を拡大中です。



「わっかプロジェクト」Web サイト

2020年にオープンしたコミュニティの輪が広がる場「wacca(わっか)」では、「女性が起業をめざす人の応援や何かをした人の拠点にしたい」と情報発信などのセミナーやイベントを開催。ネットとリアルの両方面の「わっか」を拡大中です。

2017年から市内の飲食店などを取材し、ウェブサイトに「たかしまじかん」で発信しておられる田中可奈子さんにお話しをお聞きしました。

東京で情報発信の仕事をしてきた田中さんは、2014年に新旭町の夫の実家で育児を始めました。「当時は小さな子どもを抱え、近くに友達もなく、ネットでも市内の情報も少なく引きこもっていた」そうです。女性活躍を支援する講座などに参加し始め、友人ができ、市内のお店やイベントなどを知り、高島の情報を自分のスタイルで発信したいと「たかしまじかん」の運営を始められました。

情報掲載や商品紹介などの企画で収益化できると考えていた田中さん。しかし、個人がSNSでどんどん発信できるようになっていく中での、収益化は難しかったそうです。「個人個人の発信力を上げることが大切な時代」だと2021年からマーケティングを学びはじめ、「発信がライフワーク」「コミュニティが好き」「挑戦したい人を応援したい」と軸を確かめることができました。「たかしまじかん」の利用者から寄せられた「お店を訪ねて人とつながることや交流が楽しい」との声と自らのやりたいことを重ねる形で、サイトを参加者とともに運営する「参加型メディア」を目指すと決意。現在、「わっかプロジェクト」として取材や発信を一緒に楽しみたい方を募集しておられます。



たかしまじかん



〒520-1503 高島市新旭町深溝902
TEL:080-3245-8568
Webサイト: <https://takashimatime.com/>

たかしま市民協働交流センターでは市民活動に関して、様々な疑問、相談をお受けしています。ここでは、お寄せいただいた質問や相談とその回答についてご紹介します。



イベントの「後援」とは？

Q.

イベント開催を準備しています。「後援」について教えてください。また、「協賛」や「協力」との違いについても教えてください。

A.

イベントや講座などのチラシに「後援：〇〇市、〇〇新聞社」などの記載を見かけます。「後援」は、公共性の高い団体がそのイベントなどの趣旨に賛同して応援することです。一般的には、行政や社会福祉協議会、新聞社など公共性の高い企業などから後援を得ます。

行政が後援する場合は、公益性、非営利性、行政が推進する方向との合致性などが条件になります。企業

や団体が後援する場合は、その組織の方針に沿って判断されます。後援を受けることで、イベントなどへの信頼性が高まり、広報の協力を得やすくなったり、その他の応援や協力を受ける可能性があります。後援を受けるには申請が必要です。行政や企業のイベントに関連のある部局に連絡し、企画書などで事前確認することが必要です。

「協賛」は、イベントなどに賛同し、資金的な協力や人的、物的な支援などをすることです。スポンサーと同じ意味です。

「協力」は、力を合わせてイベントなどの実施をめざすことです。物品や会場の提供など、イベント実施に役割りを担う行政、団体や個人などです。

たかしま市民協働交流センターでも後援などイベント実施の応援や協力をしています。お気軽にご相談ください。

◎市民活動についての疑問、相談などお寄せください！

まんまカフェぷらす



協働交流センター
へのメール



まんまカフェ
Facebook



高島市で、乳がんになった「仲間」の居場所づくりと、早期発見に向けた啓発活動をしているボランティアグループ「まんまカフェ」が、新しい形のサロンを開きます。

さまざまな病気と向き合っている方、ひとりで悩んでいる方、秋の湖畔で水鳥たちを眺めながらちょっと一服してみませんか？ きっと気持ちが「+」（ぷらす）になりますよ！

ご参加に際しては、ご自身や周囲の方々の体調に留意され適切な対応策を講じていただくようお願いいたします。

- 開催日 2022年10月24日(月) ※予備日10月31日(月)
受付開始10:00～12:00頃まで ※途中退場OK
- 会場 新旭水鳥観察センター
- 定員 15名(事前申し込みを推奨)
- 参加費 ￥200(水鳥観察センター入館料として)
※「高島野鳥の会」会員の方、中学生以下の方は無料
- お問い合わせ・お申し込み
・たかしま市民協働交流センター TEL:0740-20-5758
メール webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp
・まんまカフェ
Facebook <https://www.facebook.com/mammacafeshiga>

編集後記

事前の天気予報をくつがえし、眩しい夏の青空を背景に華麗に舞ったブルーインパルス。そんな空を見上げていた多くの人たち。みんなでひとつの同じ空を共有したひとときは、この夏の高島のすばらしい思い出として記憶に残り続けるのでしょうか。

私たちが発信するさまざまな情報も、皆さまの記憶に残って、皆さんが一步を踏み出したり、いろいろな方や団体とつながるきっかけとなってくればうれしいです。(K)

ちょこっとバザー 2022



2022年12月4日(日)10:00～15:00(予定)、今津東コミュニティセンター3階大ホールで、高島市内で活動する市民活動団体・ボランティアグループ等の皆さんによる「ちょこっとバザー」を開催します。

初冬のひとときを、楽しいお買い物と心温まる交流タイムでお過ごしてください。バザーへの参加希望も受付中。詳しくは「たかしま市民協働交流センター」までお問い合わせください。バザーの詳細は協働交流センターのブログでもお知らせしていきます。



たかしま市民協働
交流センターのブログ

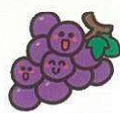


シニアのための出張スマホ相談会

「なかなか会えない人とビデオ電話がしたい」「チラシに印刷してあるQRコードを読み込んで使いたい」「仲間とLINEグループを作りたい」…たくさんの便利な機能が詰まったスマートフォンを活用できるように、生活支援コーディネーターが皆さんのお手伝いをします。高島市内で活動する市民活動や趣味のグループ、自治会、婦人会など、3名以上集まれば「出張スマホ相談会」が開催できます。費用は無料です。



詳しくはたかしま市民協働交流センターまでお気軽にお問い合わせください。



発行：たかしま市民協働交流センター

(委託運営: NPO法人コミュニティねっとわーく高島)

〒520-1622 高島市今津町中沼1丁目4-1
(今津東コミュニティセンター内)

TEL:0740-20-5758 FAX:0740-20-5757

E-mail : webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp

ホームページ : <http://tkkc.takashima-shiga.jp/>

ブログ : <https://tkkc.shiga-saku.net/>

Facebook : <https://www.facebook.com/takashimashiminkyodo/>

<メルマガ会員募集！市民活動情報をお届けします>

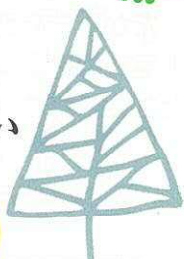
ホームページ



山椒屋たけうち

お総菜、お弁当のご注文
お気軽にご相談ください

〒520-1212
高島市安曇川町西万木 814-16
TEL:090-2289-1212



日本いき道場
お料理教室
10月から新旭公民館でスタート！
自分だけのオリジナルメニューを習得！
はじめての方に、第1本プレゼント！
お問い合わせ・お申し込みはLINEでお願いします

10/7(金)
11/18(金)
12/2(金)
12:00～17:00の間
1コマ90分
¥2,200